

第2回ワークショップの開催概要「誰もが使いやすく交流が生まれる機能配置を考えよう」
 開催日時 令和5年9月24日（日） 10：00～12：00
 開催場所 逗子市商工会館

第2回ワークショップの流れ

1. 挨拶、第1回ワークショップの振り返り
2. 複合施設の事例紹介
3. 第2回ワークショップ検討内容の説明
4. 検討作業①
「階層ごとの機能配置上の理由やコンセプトを考える」
5. 検討作業②
「機能（諸室）の配置を考える」
6. 発表



【参加者の概要】（ ）内は関東学院大学の学生
 男性16（3）名 女性11（1）名 合計27（4）名
 【タイムスケジュール】

プログラム	タイムスケジュール
① 挨拶、第1回WSの振り返り	10：00～10：10
② 複合施設の事例紹介	10：10～10：20
③ 第2回WS 検討内容の説明	10：20～10：30
④ 検討作業①、②	10：30～11：20
⑤ 発表	11：20～12：00



第2回ワークショップの概要

第2回ワークショップは、総参加者27名（うち関東学院大学の学生4名）の方に参加いただき、前回と同様に6つのグループに分かれて、グループディスカッション形式で実施しました。

第2回ワークショップでは、集約する既存の施設がもつ機能と、第1回ワークショップで出た意見をもとに、使いやすく、交流が生まれる施設を整備するため、導入する機能をどのように配置したらよいか、立面的・平面的に検討しました。

立面的検討

どんな機能を配置すると使いやすい？
 多くの人が来る？
 →階層（フロア）ごとに検討

平面的検討



導入を想定する機能の
 大まかな規模を示して
 配置を検討

検討作業① 階層ごとの機能配置上の理由やコンセプトを考える（立面的検討）

検討作業①では、階層別にどんな機能が配置されているとよいか、階層（フロア）ごとの機能配置上の理由（キーワード）やコンセプトについて考えました。

各グループの意見を整理すると以下ようになりました。

■ 各階層（フロア）のキーワードやコンセプト

	グループA	グループB	グループC
5階	イベントフロア	体を動かす。何でもできる	フリースペースのフロア 若者の政治参加にも使える
4階	窓口フロア 地域活動のフロア	事務室や執務室	
3階	学習フロア	静かな活動や会議などの目的がある空間	授乳室（ベビーカーが通れ、安全・静かな場所） 行政施設
2階	地域住民向けフロア	子ども関係や駅前保育所	騒音が伴う部屋は低層階に いろんな人が来る静かな空間
1階	誰でもフロア	誰でも入りやすい	いろんな人が来る空間 施設に入りやすいカフェやインフォメーションなどを配置
その他	3～5階は住民向け、1～2階はだれでも利用できるフロア	全体コンセプト 目的がなくても行ってみたい施設	3～4階は静かで目的を持った利用のエリア、1～2階はいろんな人が来るにぎやかなエリア
	グループD	グループE	グループF
5階	楽しい場所、SKYテラス	景色を見ながら利用できる、いろいろな機能を配置する場所	3階以上は目的をもってくる部屋 静かさが重要
4階	会議スペース 趣味の階	市民活動の場 会議室は事務機能に合わせて各階に分散配置	
3階	学習、集まりのフロア 子ども（高学年）のフロア	好きなように使える場所 図書館や学習など静かに利用できる場所	
2階	福祉施設のフロア	長時間滞在できる場所 行政サービス機能 子育て系のスペース	1階や2階は目的がなくても立ち寄れる（入りやすい、目的を「探す」）
1階	出入りしやすく、高齢者や子育てのフロア 自動車でのアクセスが重要	ふらっと入れる場所 （カフェ、コワーキング、コンビニなど）	授乳室、プレイルームは階段を上るくらいなら立ち寄らないと考える。
その他	1階や地下に駐車・駐輪場を配置		

※ワークショップでは逗子市まちづくり条例により建築可能な5階建て（20m）を上限として検討しましたが、新施設の階数は現在のところ未定です。

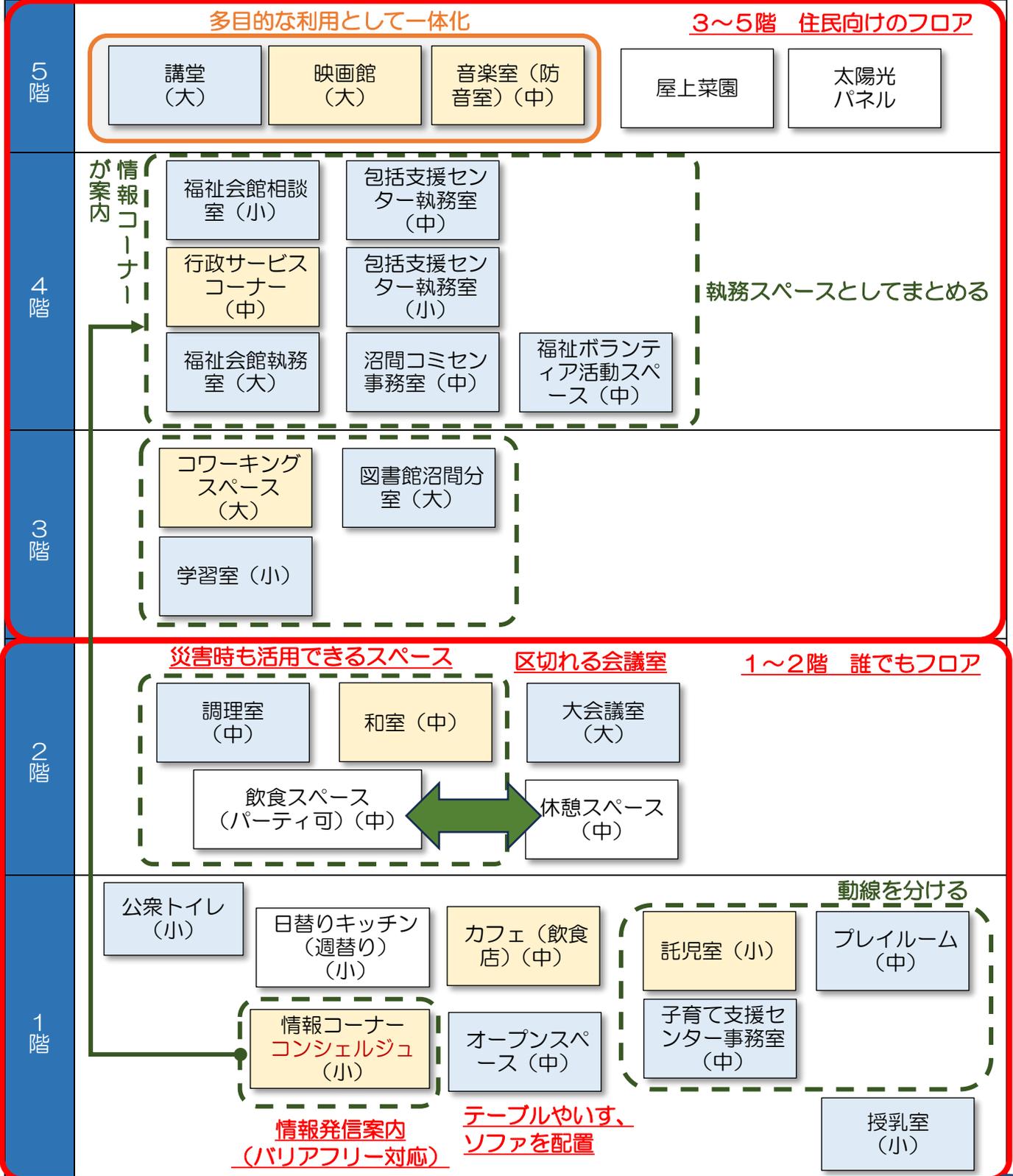
検討作業② 機能（諸室）の配置を考える（平面的検討）

検討作業②では、階層ごとの機能配置上の理由（キーワード）やコンセプトと照らして、どのような機能を配置したらよいか。また、どのような機能を隣接して配置すると使いやすいか。諸室を一つとして複数の機能を兼ねられるかを考えました。

各グループの意見を整理すると以下のようにになりました。

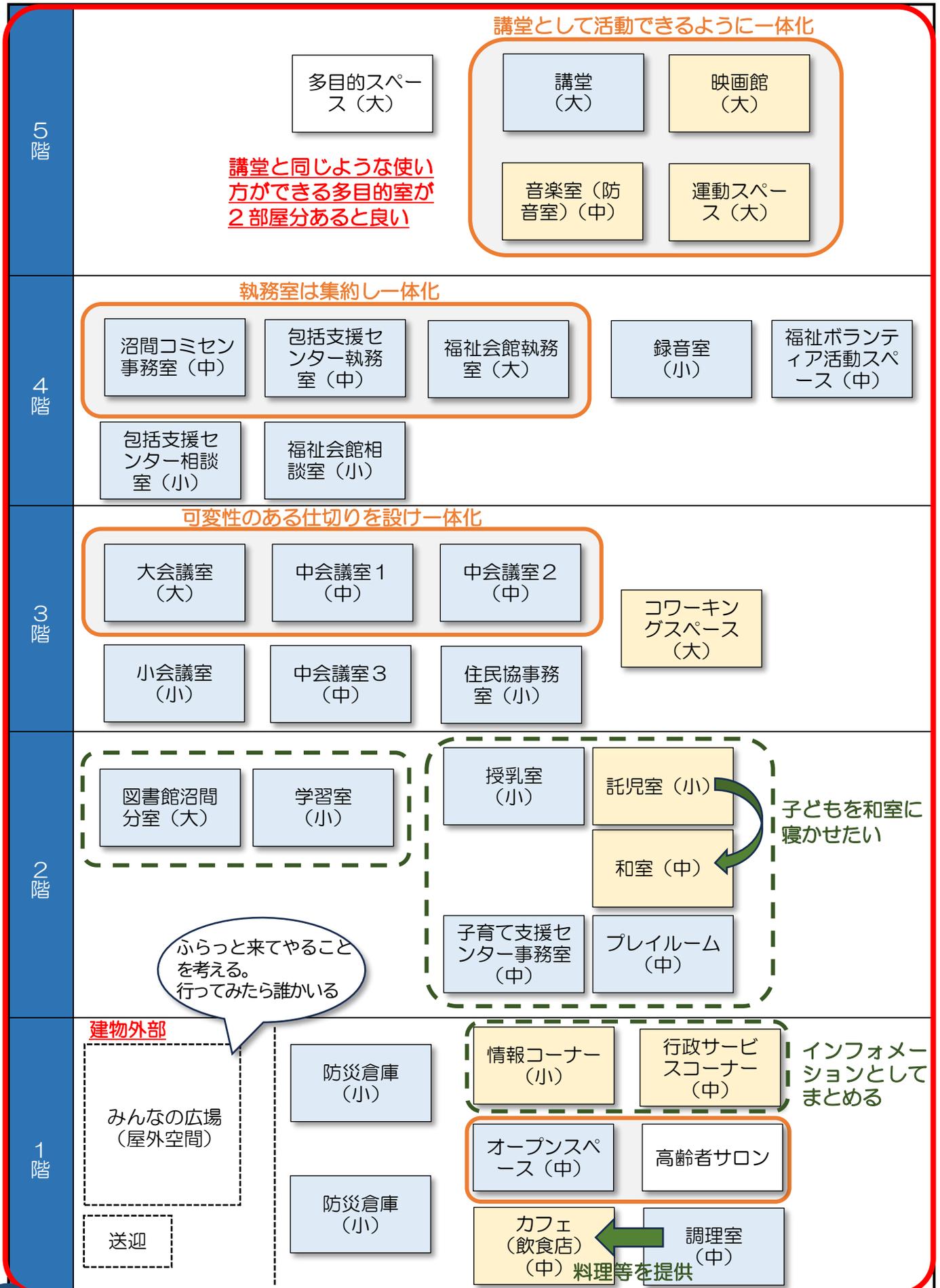


■ グループA

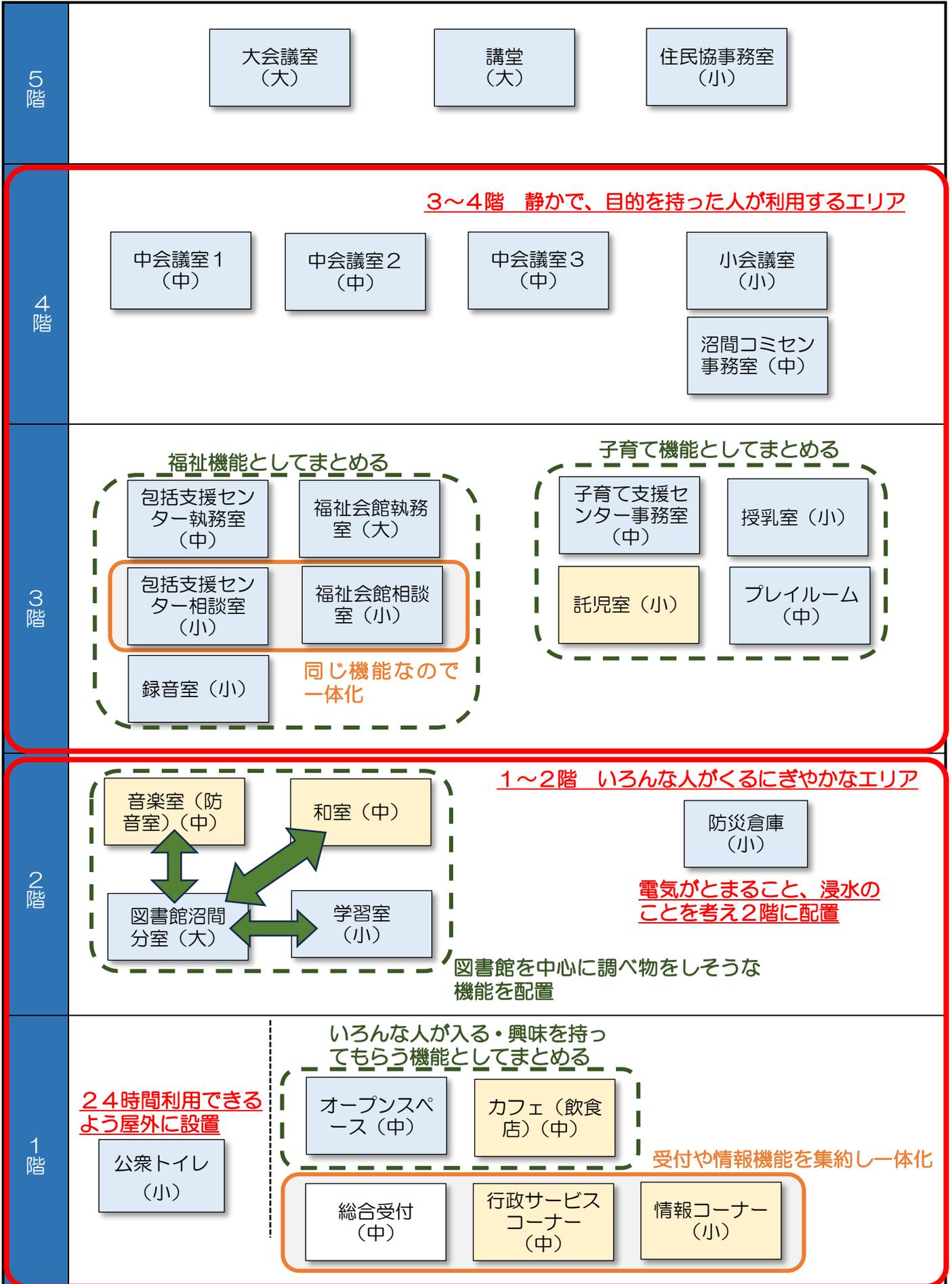


■ グループB

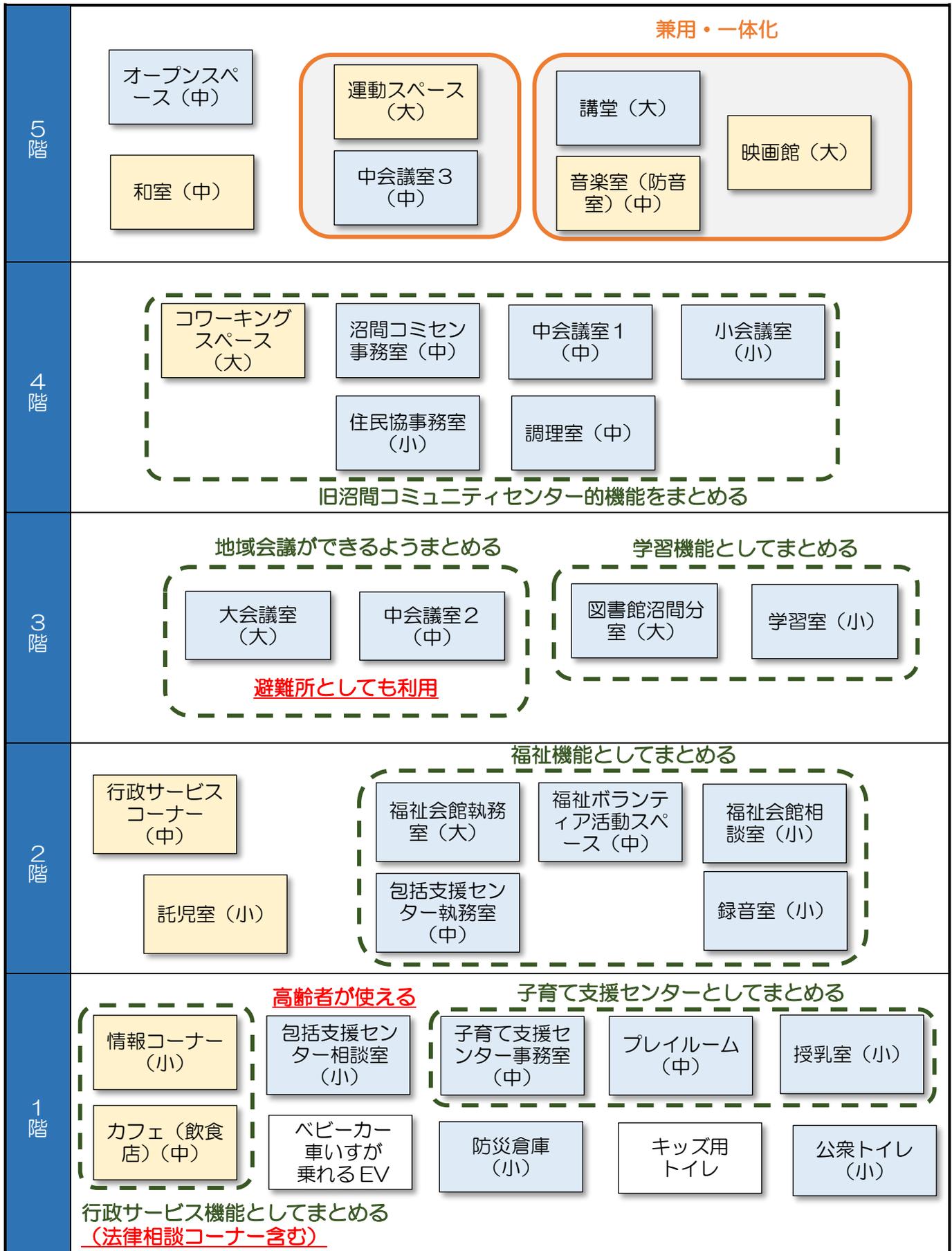
施設全体のコンセプト 目的がなくても行ってみたい施設 世代を超えて集えるように



■ グループC

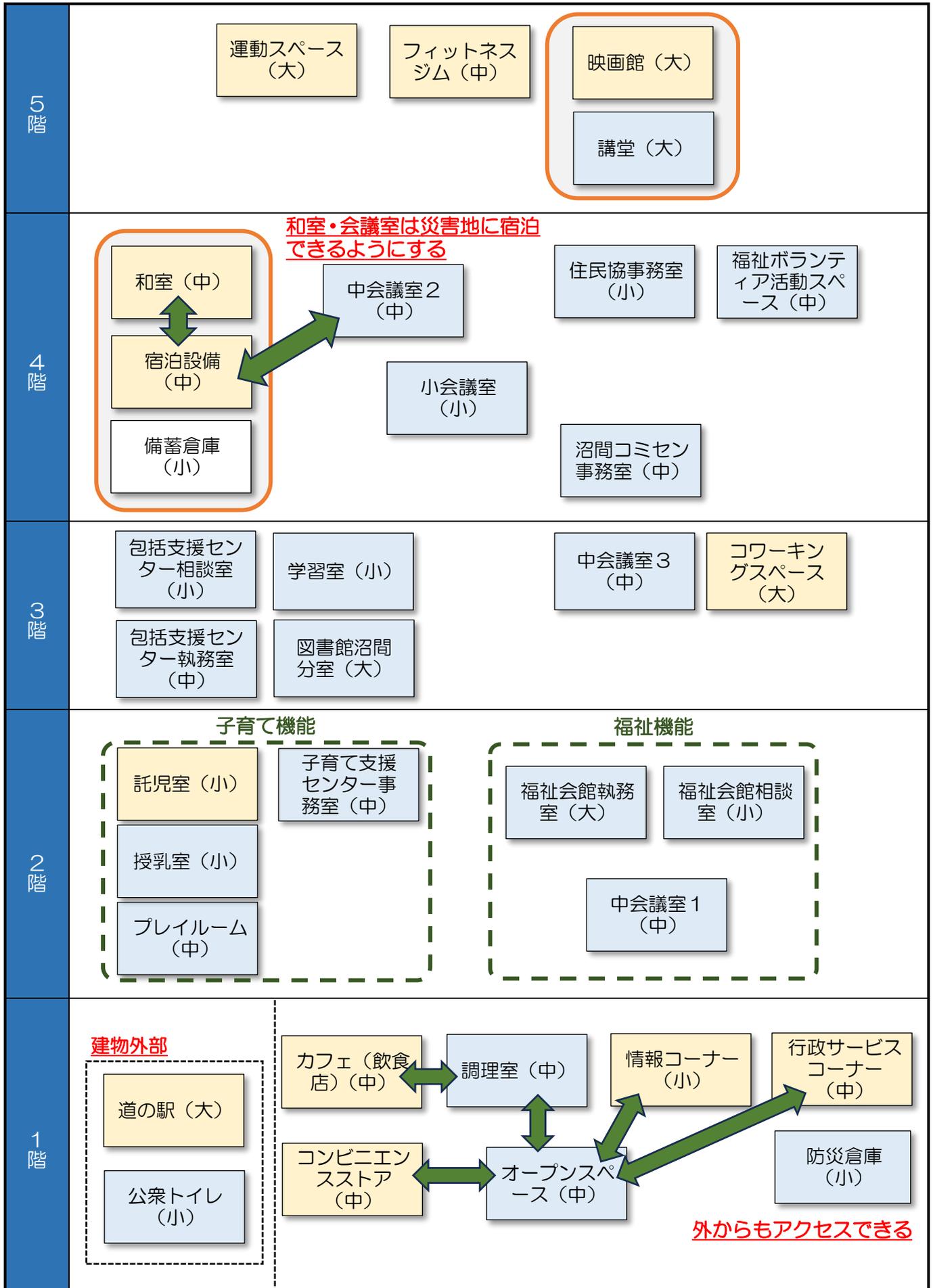


■ グループD

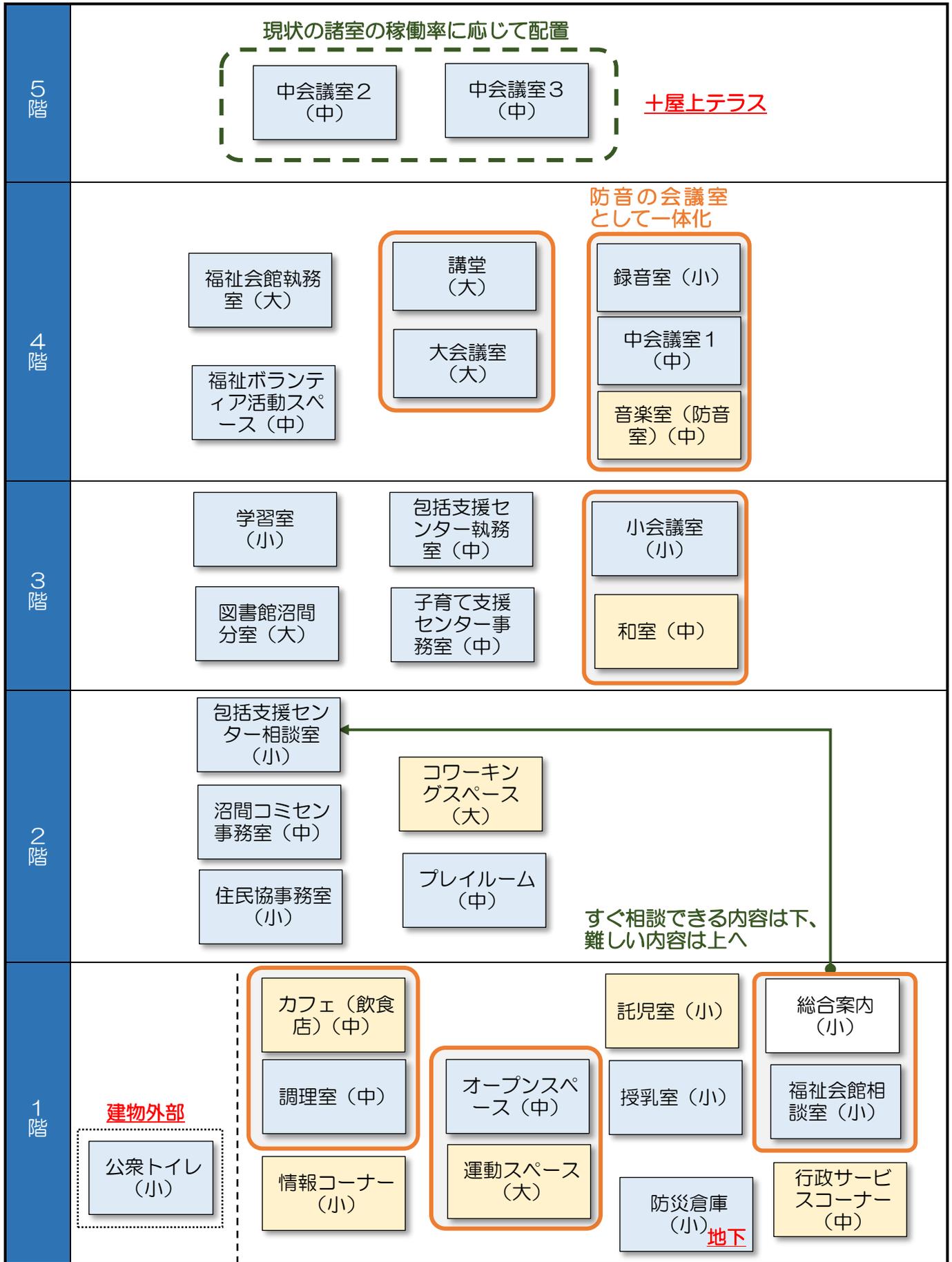


地下若しくは1階に駐車場と駐輪場

■ グループE



■ グループF



意見の要約

① 階層（フロア）ごとの機能配置上の理由（キーワード）やコンセプト（立面的検討）

階層（フロア）ごとの機能配置上のキーワードやコンセプトについて、各グループの意見を次のとおり整理しました。

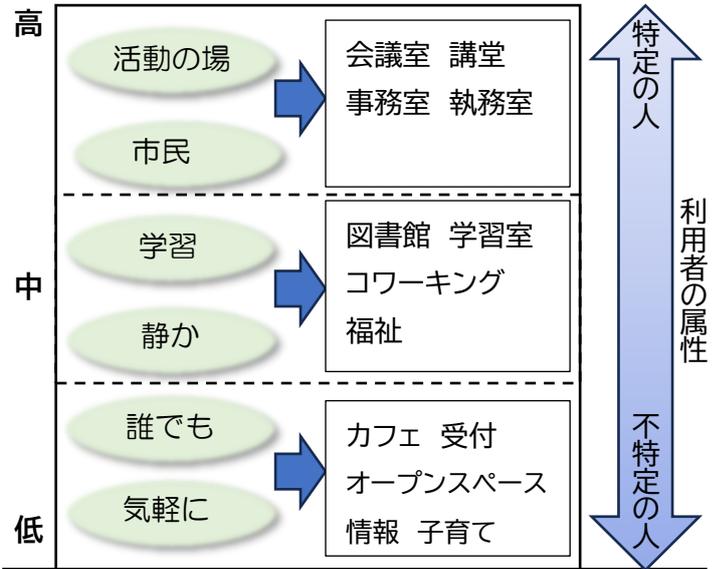
低層階は各グループ共通して「誰でも」、「気軽に」、「目的がなくても」といったコンセプトやキーワードが設定されました。

中層階（3～4階）は、「学習」、「静か」といったコンセプトやキーワードが設定される傾向がありました。

高層階（4～5階）には、地域活動やイベント、会議など、「市民」が「活動する場」といったコンセプトやキーワードが設定される傾向がありました。

低層階（1～2階）には、目的を持たない人でも気軽に立ち寄り利用できる機能が配置され、

中～高層階（3～5階）には目的を持った利用を想定する機能が配置される傾向がありました。



② 機能（諸室）の配置（平面的検討）

低層階は各グループ共通して「目的を持たない人が入りやすい機能」として、カフェやオープンスペースを配置する意見がありました。

また、会議室や福祉機能、子育て支援機能などの機能を2階以上に配置する場合には、1階に総合案内や受付機能が必要という意見がありました。

福祉機能となる、福祉会館執務室や包括支援センター執務室、相談室はまとめて配置するという意見がありました。

子育て支援機能となる、プレイルームや託児室、授乳室は子育て支援センターの事務室と合わせてまとめ、低層から中層に配置するという意見がありました。

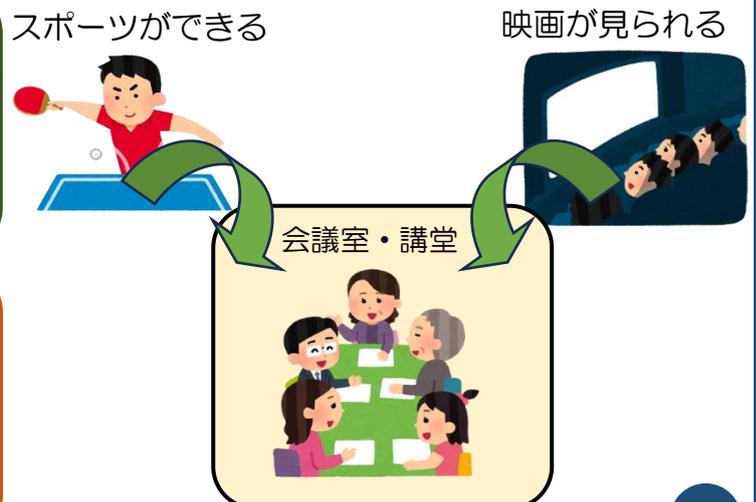
一方、事務室や執務室を集約し、一体化した一つの事務室として配置するという意見もありました。

この他、第1回のワークショップで意見として出た、映画館や防音室、運動スペースなどの機能について、会議室や講堂を可変的な使い方をすることで、多様な活動ができるという意見がありました。

【機能のまとめり例】



【可変的な使い方例】



会議室・講堂を可変的に有効活用